

令和7年度の取組 部活動の地域クラブ展開について①

保護者・地域の皆様へ
行田市教育委員会

部活動の地域クラブ展開とは

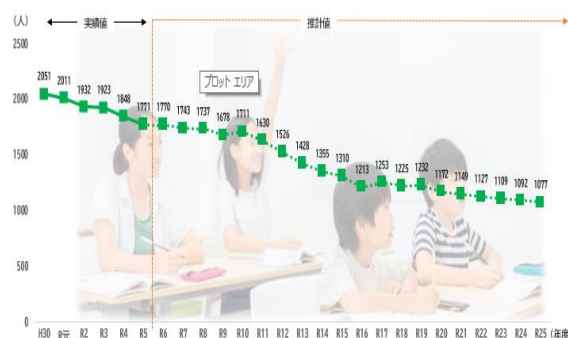
令和4年12月にスポーツ庁・文化庁から「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方に関する総合的なガイドライン」が発表され、令和6年3月に「埼玉県地域クラブ活動推進計画」「埼玉県の学校部活動の在り方に関する方針」が策定されました。

令和5年度から令和7年度までの3年間を「改革推進期間」と定められ、まずは地域の実情に応じて、まずは休日から段階的に部活動の地域展開が進められています。

なぜ部活動改革をすすめるのか

現在、学校部活動では少子化により、「単独校でチーム編成ができない」、「やりたい部活動が設置されていない」、「専門的な指導ができる教員がいない」などの現状があります。

行田市では、今後も少子化が進み15年後の生徒数は（令和5年度比で）24%減少し、25年後の生徒数は39%減少する見込みです。



部活動の地域クラブ展開とは

行田市でも、国や県の方針に基づいた取組に着手するため、「部活動在り方検討委員会」を立ち上げ、意識調査の実施や中学校部活動改革に向けた様々な検討を行ってまいりました。

現状・課題

少子化が進み

- 部活動あたりの人数が減少し、チームが組めない
- 学校にやりたい部活がない
- 専門性を有しない先生が顧問を行っている
- 教職員の働き方改革

多様なニーズ

様々な競技や活動を経験したい中学生がたくさんいる

- 新たな競技に挑戦したい
- 仲間と楽しみたい
- 競技力を向上させたい
- 自分のペースで参加したい

<地域展開に期待すること>

子ども

- ・より専門的な指導を受けることができる
- ・やりたい活動が見つかる

地域

- ・子どもたちと繋がる機会が増え、地域の活性化につながる

行田市の部活動地域クラブ展開に関する情報は、市ホームページにも掲載します。

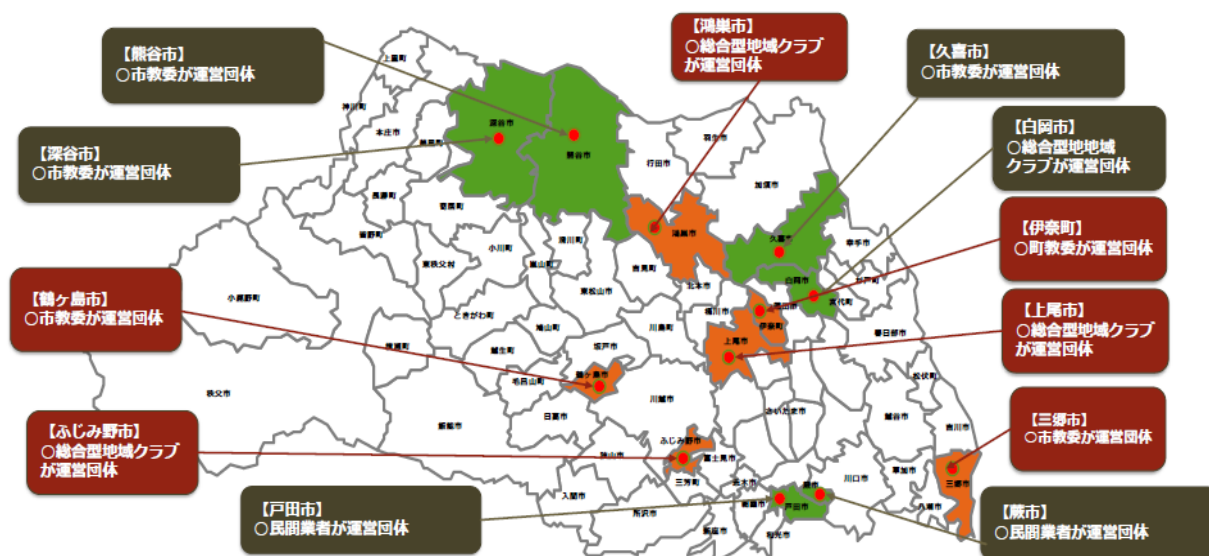


令和7年度の取組

行田市では、令和7年度に運動部活動の2種目程度を選定し、休日（土・日・曜日、祝日）における地域クラブ展開の実証事業を行います。

（以下の「地域スポーツクラブ活動体制整備事業」への参加も兼ねます。）

学校部活動の地域クラブ活動への移行について R6：地域クラブ活動体制整備事業



参加自治体は、年々増加しています。（令和6年度埼玉県内12市町参加）

埼玉県ホームページで実証事業が動画等で紹介されています。

https://www.pref.saitama.lg.jp/f2211/gakkoutaiiku/sportsclub_torikumi.html



具体的な実施内容などについては、今後、市ホームページなどでお知らせします。